

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：本町コミュニティセンター

対象地区：本町

参加人数：12 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○流雪溝の冠水について</p> <p>（市民から）</p> <p>冬になると、家の近くの丁字路付近の流雪溝に雪がつまり、家のU字溝をつたって屋敷に水が逆流してくる。また、付近の道路が冠水するため困っている。唐竹地区の融雪溝は水が流れやすい構造となっていて、雪がつまり冠水もしない。冠水しないよう対策をとってもらえないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・宅地化するとさらに冠水がおこる恐れもあるため、水を抜く方法について土木課に調べさせている。・宅地化した場合、水の量がどれくらい出てきて、また、その水をどこに抜くことができるのかなど併せて検討していきたい。時間はかかるかもしれないが、結果が出るまで待っていただきたい。
<p>○自転車の乗り方について</p> <p>（市民から）</p> <p>中学校の生徒が、自転車で右側通行をしたり横に並んで走っているため、たいへん危険である。春先に学校で交通安全教室をやっているとは思いますが、交通マナーを徹底するよう指導してほしい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・自転車の乗り方については、学校でも指導していると聞いているが、あらためて教育委員会と話をしながら指導の仕方について考えていきたい。
<p>○歩道整備について</p> <p>（市民から）</p> <p>田本商店から本町に向かう道路には踏切をこえてから歩道がない。小学生や高齢者の安全上、たいへん不安に感じている。歩道はどうしたら整備してもらえるのか。地域からの要望をあげればよいのか。</p>

(市から)

- ・町会要望をあげていただければ、緊急度や安全面を考慮しながら検討していく。田本商店から本町に向かう道路の踏切をこえた道路については、町会要望により県にお願いをして融雪溝を入れているため、そこに新たに歩道を整備するとなるとなかなか難しいと思う。ただし、どうしても危険な道路だということであれば県に要望したい。

(市民から)

小和森の菊池病院前の歩道も危ない。他にも歩道が整備されていないところが多く将来に向けて解決していかなければならないと考えている。やはり、歩道整備には地元住民からの陳情が必要なのか。

(市から)

- ・県でもすべての県道の状況を把握しているわけではないので、地元からの要望が必要となる。菊池病院前の道路については、柏木地区の浸水対策の一環で、田本商店から文化センターを過ぎたあたりで分流させて水を抜くことができないか県と協議中であり、それに伴い、歩道の下に水路が入り歩道もひろがっていくと思う。他の町会からも要望が出ているため、県に優先的に整備してもらえようお願いしている。

○中央公園の安全管理について

(市民から)

広報ひらかわ11月号の表紙が、中央公園の新しい遊具で子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子が伝わってくる良い写真であった。中央公園を通ると、親子連れで遊んでいる場面をよく目にするが、パトロールなど何か安全管理は行っているのか。

(市から)

- ・中央公園の遊具については、老朽化のため今年度新しく整備をした。良い公園であるので、多くの人に集まっていたきたいという思いもあった。12月にイルミネーションを予定しており、今後もイベント等で活用したいと考えている。安全管理に関しては、特段措置を講じていないが、危険があるのであれば検討していかなければならない。

○地域のリーダー育成について

(市民から)

地域のリーダー研修が以前はあったが今はない。40、50代の一生懸命働いている世代は地域の行事になかなか参加できず、退職後に地域活動に参加するといってもハードルが高い。そこで、市としてリーダー研修を主催してもらうことはできないか。

(市から)

- ・市では弘前大学と共同で未来の担い手育成事業を展開している。市としてもリーダーの

育成は課題の一つと考えているので、それと併せながらこういったリーダー研修ができるのか考えていきたい。

○ボランティア活動について

(市民から)

現役世代がボランティア活動した場合のインセンティブがあれば良いと思う。例えば、ボランティア手帳を作って、一定の回数参加した場合、老後に雪片付けをしてもらえるといった仕組みがあれば良いと思う。

(市から)

・たしかに、雪片付けに困っている一人暮らしの高齢者は多いと思うが、社会福祉協議会の雪片付けの事業を利用したり、地域のなかでお互いに助け合いながらやっていただきたい。しかし、ボランティア手帳はおもしろいアイデアだと思うので、どういう形になるかは分からないが検討してみたい。

○道路の白線について

(市民から)

流雪溝と道路の間に白線を引くことはできないものか。白線を引くことによりその外側を歩かなければならないという意識が生まれると思う。

また、交差点の止まれ白線が消えているところがあるので整備してほしい。併せて、止まれの位置に関しておかしいと思われる箇所もあるので、事故が起きないように検証してもらいたい。

(市から)

・管理者側との協議やコストの検証も必要となるので、持ち帰って検討してみる。

○小・中学校の統廃合について

(市民から)

小・中学校の統廃合の予定はあるのか。現状の学校が保たれるという認識で良いのか。

(市から)

・現在の計画のなかでは統廃合は考えていない。ただし、碓ヶ関地域に関しては、子どもの数が少なくなってきた上、小学校が老朽化しているため、中学校と併置校とするか検討している。また、大坊小学校は近い将来、一部複式学級となる。地域の人が人数の多いクラスで学ばせたいとなれば統廃合の話も出てくるが、今のところはない。

○森林環境税について

(市民から)

本町には生産森林組合があるが、平成23、24年頃に補助金がカットされて以降、収入がほとんどない状況のため組合の維持に苦慮している。新たに創設される森林環境税(国税)はどのような用途となるのか。

(市から)

・森林環境税は高知県が全国に先駆け導入したもので、1人から500円徴収しているようである。目的は、環境に対する意識付けと間伐を促進し山を育てていくことにある。青森県では導入されていないが、全国に広がっていて、それを国で始めるようである。どのような用途となるかというところまでは把握していないが、高知県の事例から考えると、おそらく山を育てて山の環境整備のために使われるのだろうと推測される。

(市民から)

補助金がもらえるということか。

(市から)

・おそらく、国で徴収した税金のなかから、森林の面積等にあわせて配分されることになるかと思う。

○稲わら有効利用支援事業について

(市民から)

稲わら有効利用支援事業に対して補助金を交付してもらっている。この事業のおかげで本町周辺のわら焼きは少なくなり、たいへん効果があったと思う。この事業を今後も是非続けてもらいたい。

(市から)

・平成22年度より稲わら有効利用支援事業を実施しており、稲わらのすきこみ・収集を行ってもらっている。市内700ヘクタールの水田で行われていて、一反歩あたり1,000円の助成をしている。これによりわら焼きが減少したことは住民の方も実感していると思う。また、この取組みにより土づくりにも良い影響を与えている。周辺では平川市が先進的な取組となっていることもあり、これからも長く続けていきたいと考えている。

○任意団体に対する補助制度について

(市民から)

本町には、本町水稻生産組合という任意団体があるが、機械の更新など経費がかかる場面においても任意団体であるため個人の認定農業者のように補助金をもらえない。任意団

体は市内でも数多くあるため難しいことだとは承知しているが、任意団体に対する補助金制度についても考えてもらいたい。

(市から)

- ・たしかに個人の認定農業者に対する国の補助制度はあるが、近年はなかなか採択状況が厳しく、補助金を受けることが難しくなっている。
- ・コンバインなど機械を更新するには相当な経費がかかり、農家の方々が頭を悩ませている状況も理解している。市内の任意団体、法人化している団体は相当数あり、機械の所有台数もかなりあるようだが、どの団体でも厳しい状況のなかで借金をしてでも機械の更新をしているようだ。機械の機能も向上してきているため、所有台数を精査しながら効率化を目指してやってきているようである。
- ・市内全体の団体に対して補助するとなると大変なことであるし、米農家のみならず、りんご農家のことも考慮しなければいけない。悩ましい問題ではあるが、なかなか良い答えが出せないのが現状である。
- ・国の補助がなくなっている状況で、市が単独で補助をするという話はやはり難しいと言わざるを得ない。

(市民から)

補助金を出すことが難しいことは分かるが、これから先の地域の将来を考えたとき、若い世代がいないと農業を維持していくことが出来ない。自分の子どもにも農家を継いで欲しいと言えない状況であるため、後継者が出てくるよう助成措置を考えてもらいたい。

(市から)

- ・広船の水稲生産組合では、水稲面積が少なくなっているなか、組合を維持するため苗を売っており、そのお金で機械を購入するなど工夫をしている。このように各団体において工夫をするのも一つの手である。国に補助を求めても制度がないため、自助努力をお願いするほかない。国の制度について調べてみて、市でどのような補助ができるのか検討をしてみるが、市単独で機械等にかかる補助を出すことはやはり難しい。

○除雪の順路について

(市民から)

本町コミュニティセンターの駐車場を除雪していただけるのは大変ありがたいが、毎回遅い時間帯の作業であるため、近隣住民の睡眠の妨げとなっている。除雪の順路を変えるなどの対応をしてもらえないか。

(市から)

- ・市の除雪の基準では、10cm以上の積雪があるか、10cm以上の積雪があると予想される場合に出動することとなっている。日中は車なども多いためどうしても夜中から

明け方にかけての除雪となってしまう。順路の変更については、土木課に話をしてみるのが、委託業者がやりやすいやり方もあるようなので、必ず変えると言うことは出来ない。

- ・平川市の除雪は良いと好評である。委託業者には、距離ではなく時間で報酬を支払っており、丁寧に除雪していただいている。

○道路の停止線について

(市民から)

平賀駅から大光寺方面に向かう通りの交差点の停止線が消えかかっている。交通量も多いし、事故が起きてからでは遅いのですぐにでも対応してもらいたい。

(市から)

- ・早急に現場を確認する。他の場所についても指摘があれば確認に行き、黒石警察署に対応について相談したいと思う。

○学校の予算について

(市民から)

以前、小・中学校の事務の方と話した際、予算が厳しいという話があった。金額の大きな備品であれば、要望を出して次年度の予算がついた段階で入札等により調達するという流れは分かるが、1、2万円といった安いものでも買えなくて困っているようであった。そこで、学校で自由に使える予算の枠を上げてもらいたい。

(市から)

- ・毎年、予算要求をしていただいた要望を精査して、備品等に使える予算はつけている。1、2万円のものを買えない状況というのが具体的にどういう状況かは分からないが、予算を超えた場合においても、都度協議をして、補正予算をつけたりしている。備品に関しては、ある程度自由に使える予算となっており、そのなかで優先順位をつけて買ってもらっている。ある程度自由に使える枠というのがはっきりしないので、学校側の希望がどのようなものなのか教育委員会とも話をしてみたい。